

政策	安全で快適な都市生活の充実	施策	消防・救急の充実	基本事業	救急救命体制の充実		
部名	消防	事業開始年度	平成9年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	救急課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	すみやかで的確な応急処置を実施することで、苦痛の軽減、安心感を与える。
手段	高齢化に伴う急病事案の増加等に伴い救急現場及び搬送途上において、呼吸、循環不全に陥る人が増加している。これらの人々の生命を救うため、メディカルコントロール体制の構築をはじめ医療機関との連携を強化し救急救命士及び救急隊員に対する教育を充実させ知識、技能を習得し救命効果の向上を図り医療機関に搬送する。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	市民	人	123,054	122,568	122,568	122,138	
対象指標2							
活動指標1	年間救急出場件数	件	3,629	3,618	3,600	3,600	
活動指標2	年間搬送人員	人	3,327	3,318	3,400	3,400	
成果指標1	1件当りの平均到着時間	分 秒	6.43	8.17	8.1	7.55	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	5,682	5,625	5,579	6,012	0
正職員人件費 (B)		千円	100,296	99,576	99,936	97,752	0
総事業費 (A) + (B)		千円	105,978	105,201	105,515	103,764	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低置下			